



大庭小学校だより

「笑顔を絶やさず、常に上機嫌な大人である」こと、これが、私が

常日頃思っている教員としての最大の資質です。毎日子どもたちに接する大人が、いつも上機嫌であることは子どもたちに計り知れない好影響があります。不機嫌の悪影響もご想像通りです

教職員が笑顔を絶やさず、常に上機嫌であるために、適正な業務時間・業務量は大切です。現状は、業務量が業務時間からあふれているというのが偽らざるところです。時間外勤務を R4と R5で比較すると 1 日当たりの平均時間は、残念ながら変化がありません。やむをえず持ち帰りの仕事をしている職員があることも認識しています。

保護者の方から見ても、毎日遅くまで働いて疲れて不機嫌な先生と充実した生活を過ごし上機嫌な先生を比べれば、もちろん後者がいいですね。これを実現するのが最近メディアでよく取り上げられる「**教職員の働き方改革**」です。教職員に個人や家庭人としての充実した生活があって初めてよい教育ができます。ご自分の経験の中でも、よい思い出が残っている先生は笑顔を絶やさない人ではありませんでしたか？上機嫌・笑顔が大切なのは日々子どもに接する保護者のみなさまも同じと思っています。

昨年も 10月の学校だよりで本校の働き方改革のご紹介をしました。本校の勤務の実態や国や県・市の動向などをお伝えし、地域・保護者のみなさまへ次の 2 点をお願いしたところ、時間外のお電話・ご訪問は、ずいぶんと少なくなりました。ご協力に感謝し、引き続きのご協力をお願いします。

- ①お電話、来訪、忘れ物など学校へのご連絡はできる限り勤務時間内(16:40)にお願いします。
- ②お子さんに関する面談を勤務時間内に設定できるようにご協力ください。

その中で、「松江市教育委員会では学校への留守番電話の導入を検討されています」と書きました。R5 年度に数校で設置が行われており、近く全学校に設定予定です。具体的には 18 時から翌朝 7 時 30 分までは、自動音声の流れ、電話がかかりません。そこで上の 2 点に加え、本校でも

- ③18 時から翌朝 7 時 30 分までは、職員が時間外で在勤している場合も、電話はお受けしません。本来、勤務している時間(8:10~16:40)ではなく、やむを得ず時間外勤務をしているためです。(欠席連絡はシステムでお願いします。)

とします。働き方改革に挑戦すると、これまでの常識と相反する部分も出てきますが、よりよい教育を目指すためとお考えいただき、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。昨年の学校だより 10月号は HP に掲載しています。考え方は変わっていませんので、再度お読みいただければ幸いです。

<http://www.city.matsue.ed.jp/ooba-e/contents/blog/more/46488.html>



9月16日体育会 熱い声援
ありがとうございました。

お知らせ 児童が使用している**体操帽子**について これまでは男女で違う形状の帽子を使用していましたが、R6年度入学児童から、あごひもつきのタイプに統一します。在校生については、現在使用しているものを続けてご着用ください。